

chapter4

第4章 定期点検

定期的に交換が必要な部品の交換方法や、交換後の調整方法を説明します。

4.1 ピストンリングの交換

ピストンリングが磨耗すると、気密性が低下して十分な性能を発揮できなくなったり、シリンダー内の壁面を傷つけてポートを損傷させるおそれがあるため、3年毎に交換する必要があります。

⚠ 注意

運転直後の空気圧縮機は非常に高温になっているため、装置停止後、約1時間放置し、装置が十分に冷えたことを確認して、作業を開始してください。高温のまま作業を行うと、やけどする可能性があります。

作業概要

部品を交換するときの作業人員数、目安となる作業時間は以下のとおりです。

作業人員	作業時間
1名	1時間

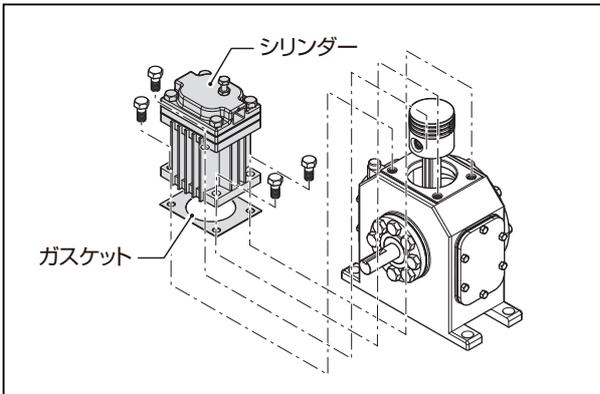
準備するもの

部品を交換するとき準備しておく必要がある工具類は以下のとおりです。

No.	工具	No.	工具
1	メンテナンス工具一式	2	トルクレンチ
3	ウエス	4	オイル(型式:xxxxxxx)

1. シリンダーとガスケットを取り外します。

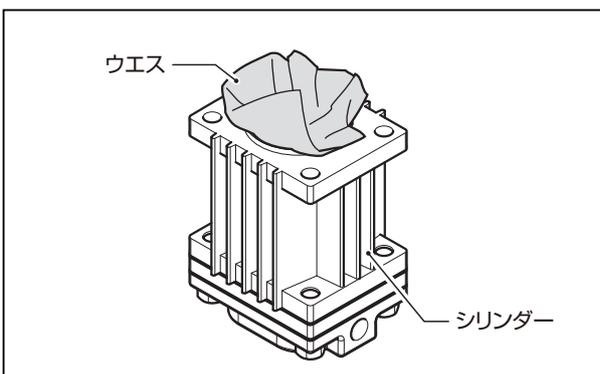
- ・六角ボルト4本(M12 × 20)
- ・ガスケット1枚(再利用不可)



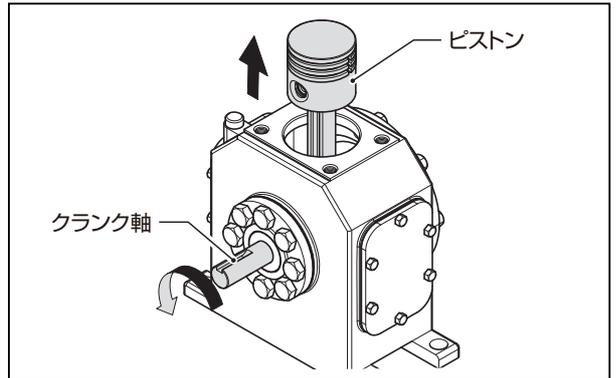
2. 取り外したシリンダーの開口部をウエスで塞ぎます。

⚠ 注意

取り外したシリンダーやクランク室にゴミや埃が入らないように注意してください。ゴミや埃が混入すると、駆動時にシリンダー内の壁面を傷つけてしまう可能性があります。



3. クランク軸を回してピストンが上死点付近になるようにピストンの位置を調整します。



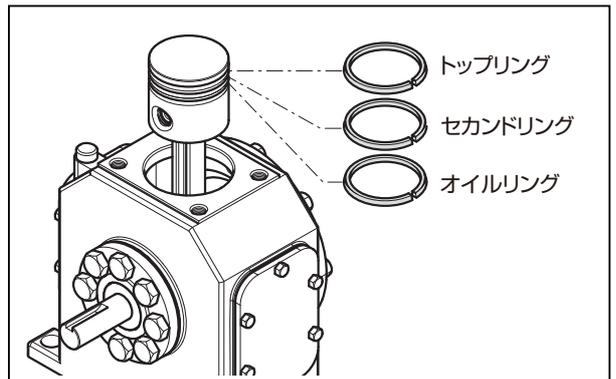
4. ラジオペンチでピストンリングを取り外します。

ピストンリングは、上から「トップリング」、「セカンドリング」、「オイルリング」の3本を取り外します。

- ・ピストンリング3本

⚠ 注意

ラジオペンチとピストンが接触して、ピストンに傷が付かないように注意してください。



5. ピストンリングが装着されていた溝の古いオイルや汚れを、オイルをしみ込ませたウエスでふき取ります。

❗ 重要

ゴミや汚れ、カーボンの蓄積があると、正しくピストンリングを取り付けることができないため、きれいに汚れを取り除いてください。

6. ピストンリングを取り付けます。

ピストンリングは、テーパのかかった面を上向きにして取り付けます。

- ・ピストンリング3本

